



大原 功 議員

年4回の市議会定例会を、 2回にしてはどうか

問

議会改革について聞く。
(1) 三重県議会は知事の提案で定例会が2回になった

【手】市長の考え方はどうか。

20年から実施し、都道府県では初。議会が機能する日数を約2倍に増加させた。地方議会は本市同様、年4回が多く、異なるのは数自治体のみである。

(2) 議員報酬月額40万円のうち、10万円を政務調査費にすれば、(議会活動をしなかつた分が支給されず)経費節減になるがどうか。

妥当な回数と考
えている

答 市長

(1) 年4回は妥当な回数であると考えている。
(2) (議員)報酬は、特別職

報酬等審議会の答申を受けた額で、県内各市の支給額を見ても妥当な額と考えている。

調査費は全国的に額の引き下げ、廃止をする市もあり、報酬を削減して充てる考え方は持っていない。

国税資産割を
なくしてほしい

問

市は国民健康保険税に資産割を賦課している。
資産割は固定資産税で税金を徴収しているので、なしにしたらどうか。

不況下でなくす
ことはできない

答 市長

資産割をなくすと、不況下で安定的な財源を確保することができない。

国保運営も大変厳しい状況にあり、資産割りをなくすわけにはいかないと考えている。

下水道で干上がる
水路の対応は

問

(整備中の) 公共下水道事業を尋ねる。

(1) (市全体で) 下水道工事業費が高くなったときには、(使用料1^m3当たり) 157円50銭が180円とか190円にならないか。

(2) 下水を進めていくと水路に水がなくなる。火災時のために水を張っておくか。

関係機関と話を
する

平島地区で行われた公共
下水の工事説明会(9月30日)



答 開発部長

(1) 事業費的には今の中でいける。

期間が延びたり、事業費の大幅な伸びが予想される場合は、その都度計画の見直しも実施しなければならぬ。そうした場合は議会にも諮り、対応していきたい。

(2) 水路は木曾川用水との兼ね合い等もあるので、清流を流すことに関しては、そういった機関とも一度話をしていきたい。